

お取引先の成長を支援する取り組み

販路拡大支援

●「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京
～6次産業化商談会～」を開催(北陸銀行、北海道銀行)

北陸銀行、北海道銀行および「東北・北海道地区交流促進地銀連携」を締結する東北10行がお取引先の販路拡大のため首都圏を中心としたバイヤーとの商談会を開催しました。個別商談、展示商談のほかに商品の付加価値を高めるため、6次産業化を支援するための相談会も実施し、新たな商品開発に向けた意見交換が行われました。



出展企業数 …… 36社
バイヤー数 …… 17社
商談件数 …… 100件

●「北海道の『食』特別商談会 in 小樽・後志」を開催
(北陸銀行、北海道銀行)

ほくほくフィナンシャルグループ10周年を記念し、北陸銀行と北海道銀行の合同で商談会を開催しました。両行のネットワークを活用して招聘した多様なバイヤーを相手に自社商品をアピールしていただきました。また、バイヤーに生産・製造現場を知っていただくための見学ツアーも実施しました。



出展企業数 …… 19社
バイヤー数 …… 7社
商談件数 …… 74件

●「ビジネスマッチング商談会 for ASIA」を開催
(北陸銀行、北海道銀行)

従来、商談会で海外バイヤーと合意しても、出展企業が輸出業務に不慣れなことから最終的な成約に至らない事例が少なくありませんでした。そこで今回の商談会では輸出経験のない企業の成約率を高めるため、海外に販路を有する国内商社を中心にバイヤーを招き、商談成約後は国内取引で海外へ輸出できるようにしました。



出展企業数 …… 21社
バイヤー数 …… 13社
商談件数 …… 94件

●株式会社イトーヨーカ堂「北陸フェア」への出展を支援
(北陸銀行)

27年1月、地域企業の販路拡大および北陸・首都圏の橋渡しのため、株式会社イトーヨーカ堂「北陸フェア」への出展を希望するお取引先を対象とした個別商談会を開催しました。当日は36社が参加し、新幹線開業を前に関心が高まる北陸の特産品を紹介しました。その中から10社が、3月に全国約150店舗で開催



された「北陸フェア」に出展しました。

海外進出支援

●海外駐在員事務所長帰国報告会(北陸銀行、北海道銀行)

北陸銀行ニューヨーク駐在員事務所長と北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所長が札幌で合同報告会を開催しました。報告会では、収集した現地の最新情報や経済動向をお取引先にお伝えしました。今後も海外拠点を相互活用することで、お取引先へのサービス向上に努めていきます。

参加企業数 51社80名



●中国信託ホールディングと業務提携(北陸銀行)

台湾の大手金融グループの中国信託ホールディングと業務提携を結びました。台湾へ進出中あるいは進出を検討中のお取引先に対し、台湾経済・投資環境などの情報提供や同グループ傘下の中国信託商業銀行を通じた金融サポートが可能となりました。



●「道銀ロシアビジネス交流会 in 札幌」を開催(北海道銀行)

道内企業の極東ロシアにおける貿易拡大を目的に、ユジノサハリンスクとウラジオストクからロシア企業を招き交流会を開催しました。交流会では、ロシア企業のプレゼンテーションと個別商談会を行いました。また、道内企業の見学も行い、相互に理解を深めていただくことができました。



道内企業数 49社
ロシア企業数 8社
商談件数 55件

人財育成

●「目利きコンテスト」、「道銀ビジネスアカデミー」の実施(北陸銀行、北海道銀行)

よりニーズに沿った提案や経営改善のアドバイスを行えるように北陸銀行、北海道銀行ではさまざまな研修を行っています。

北陸銀行ではお取引先の全体をより深く捉えられるよう「目利きコンテスト」を実施しています。よく分析できている事例については余暇セミナーで発表し、ノウハウを共有しています。

北海道銀行では一人ひとりのスキルアップがお取引先への貢献度アップとなるよう業務別の短期集中型の研修「道銀ビジネスアカデミー」を実施しています。



目利きコンテスト



道銀ビジネスアカデミー

地域活性化に関する取り組み

●北陸新幹線開業を地域活性化に(北陸銀行)

27年3月の北陸新幹線開業を地域活性化に繋げるため、首都圏の店舗および長野支店では、北陸三県の各自治体のPRチャンネルとしてポスター掲載や富山県や金沢市が制作した観光DVDの放映などを行いました。

また、富山県との「連携と協力に関する包括協定」に基づき、富山駅前支店に「北陸新幹線開業カウントダウン電光ボード」を設置し、新幹線の開業機運を盛り上げました。



●金沢大学・富山大学・富山県立大学の学生を中国・大連へ派遣(北陸銀行)

27年3月、「包括的連携協力協定に関する覚書」に基づき、金沢大学と富山大学の学生各10名、富山県立大学の学生2名を研修のため中国・大連へ派遣しました。

本研修では、中国事情の理解とともに、グローバル社会で活躍できる国際感覚を身につけた人材育成を目的に、現地へ進出している北陸の企業への訪問や北陸銀行大連駐在員事務所長による講演などが行われました。また、同世代である現地の大学生との意見交換会では活発な議論が行われました。



●「市町村公共施設マネジメントセミナー」を開催(北海道銀行)

国が市町村に要請している公共施設等総合管理計画の策定に向けた具体的な検討方法や策定手法についてのセミナーを道内4会場で開催しました。公共施設の老朽化対策は人口減少社会を見据えたまちづくりにおいて不可避な課題であり、地元金融機関として自治体との連携を強化し、地域活性化に取り組んでいきます。

参加自治体 88市町村



●株式会社リクルート北海道じやらんと道南の魅力を発信(北海道銀行)

平成28年春の北海道新幹線開業に向けて、地元北海道経済の活性化に貢献するため、連携協力協定を結んでいる株式会社リクルート北海道じやらんと連携し「北海道じやらん」2015年2月号より「函館&道南魅力発信隊」と題した特集記事を連載しています。

また、27年4月には東北・首都圏から道南への誘客促進のため、同社が製作するフリーペーパー「函館・道南で春と桜を楽しむ本」を連携して発行し、東北・北海道地区交流促進地銀連携を締結した東北10行の店頭でも読んでもいただけるようにしました。

